



12.家事・育児時間に大きい男女差がある中 男性が育児のための休暇・休業を取得すること等で 職場にもよい影響がある

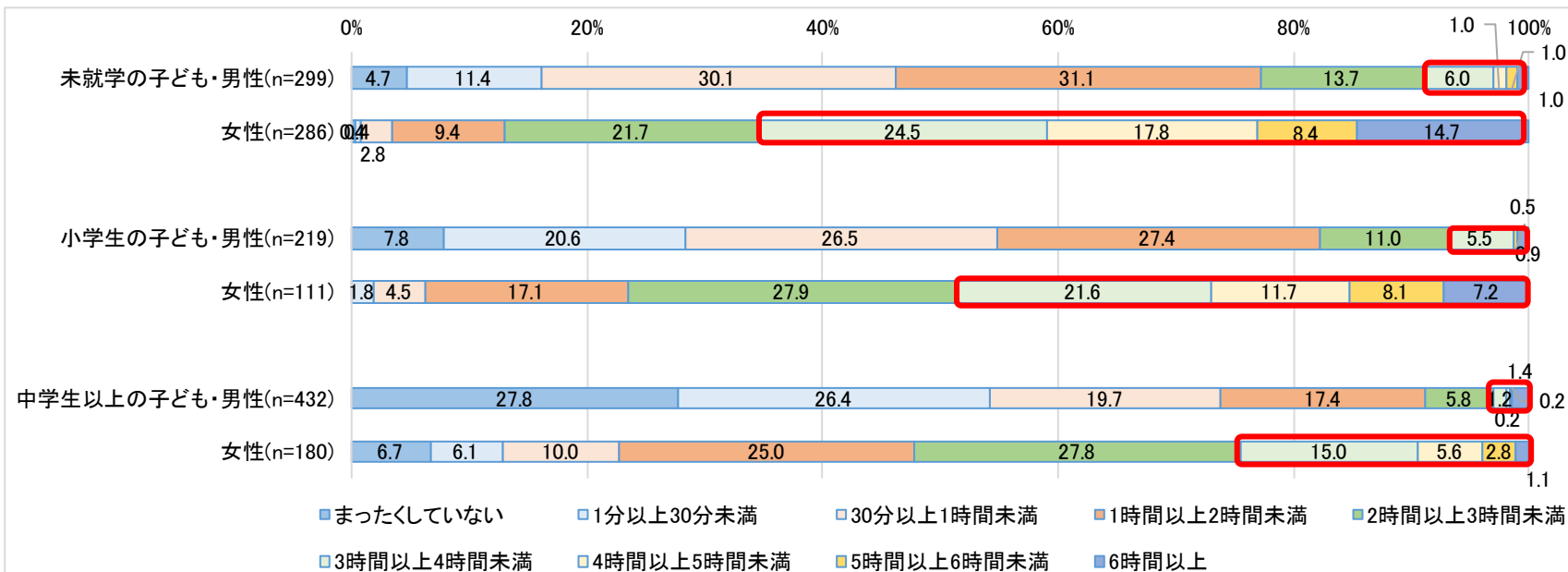
子どもの年代に関わらず、家事・育児時間に男女間で大きな差がある



- 長子の年齢別に、仕事がある日の家事・育児時間を男女で比べたところ、未就学の子どものいる女性では、3時間以上の人々が65.4%であるが、男性では9.0%しかない。
- 3時間以上の人々の割合は、小学生の子どものがいる人では、女性48.6%、男性6.9%、中学生以上の子どものがいる人では、女性24.5%、男性3.0%と長子がどの年代でも、家事・育児時間に男女間で大きな差がある。

【長子の年齢別 男女別】仕事がある日の家事・育児時間

Q22.現在の、あなたの仕事がある日の家事・育児時間はどのくらいですか。



企業規模が小さいほど、子どもの出生や育児のために 休暇・休業を取得している男性の割合が低い



- 男性において、有給休暇を含めた、子どもの出生や育児のための休暇・休業の取得状況を企業規模別に見ると、最も割合の高い3,001~5,000人企業でも「休暇・休業を取得した」45.3%、「現在、休暇・休業を取得中である」5.7%で、合わせて約半数である。101~300人では36.1%（32.8%+3.3%）と低い。

【男性：企業規模別】子どもの出生や育児のための休暇・休業

Q23.あなたは、子どもが生まれてから現在までの間に、子どもの出生や育児のために休暇・休業を取得しましたか。

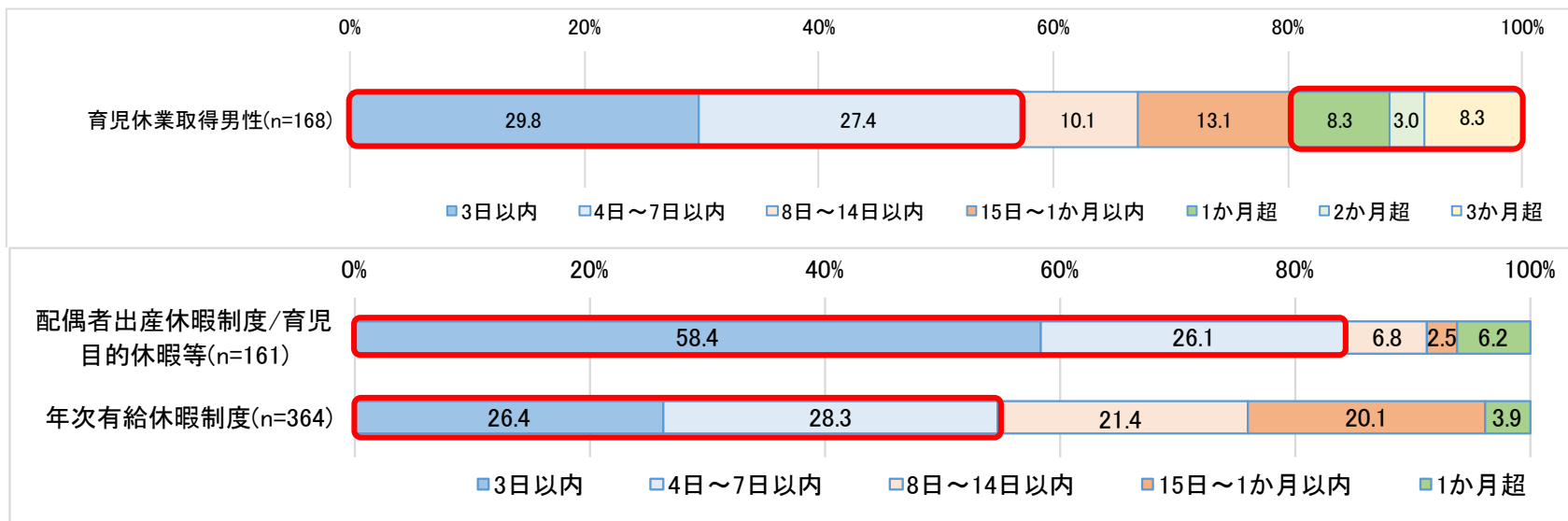
凡例	(n)	休暇・休業を取得した	現在、休暇・休業を 取得中である	休暇・休業の取得を申請したが、 休暇・休業を取得できなかった	休暇・休業の取得を希望していた が、休暇・休業を申請しなかった/ 制度がなかった	休暇・休業を取得すること を希望していなかった	(%)
101~300人	(299)	32.8	3.3	5.0	17.1	41.8	
301~500人	(91)	31.9	2.2	5.5	14.3	46.2	
501~1,000人	(108)	35.2	0.9	9.9	20.4	42.6	
1,001~3,000人	(145)	37.9	2.1	5.5	17.9	36.6	
3,001~5,000人	(53)	45.3	5.7	3.8	7.5	37.7	
5,001~10,000人	(82)	41.5	2.4	6.1	11.0	39.0	
10,001人以上	(172)	45.9	4.7	3.5	11.6	34.3	

子どもの出生や育児のために長期の休暇・休業を取得している男性は少ない



- 男性において、子どもの出生や育児のための休暇・休業取得日数を見ると、育児休業取得者でも1か月を超えて取得している人は19.6%しかいない。
- 7日以内の人が、育児休業で57.2%、配偶者出産休暇制度/育児目的休暇等で84.5%、年次有給休暇で54.7%と高い割合である。

【男性：休暇・休業の種類別】Q24子どもの出生や育児のための休暇・休業取得日数

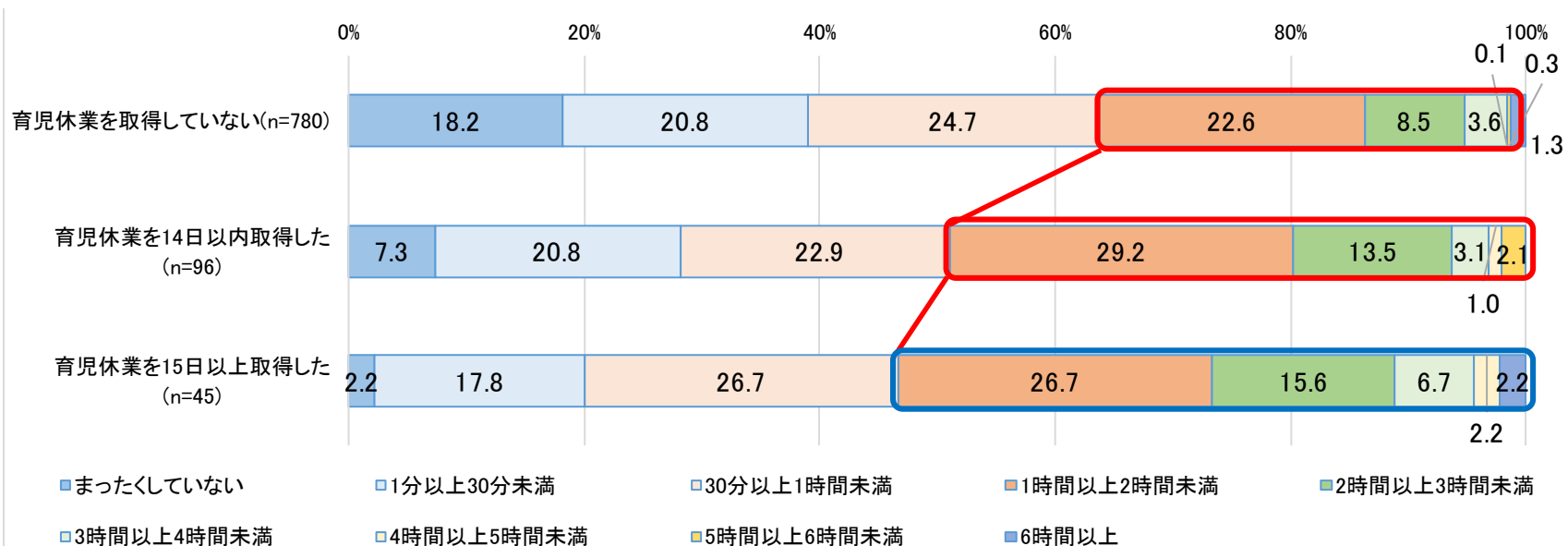


男性のうち、育児休業を取得した人のほうが現在の家事・育児時間が長い



- 男性において、育児休業取得別に、仕事がある日の家事・育児時間を見ると、1時間以上している人の割合は、育児休業を取得していない人では36.4%と低いが、育児休業を14日以内取得した人では48.9%、育児休業を15日以上取得した人では53.4%と高い。

【男性：育児休業取得別】仕事がある日の家事・育児時間



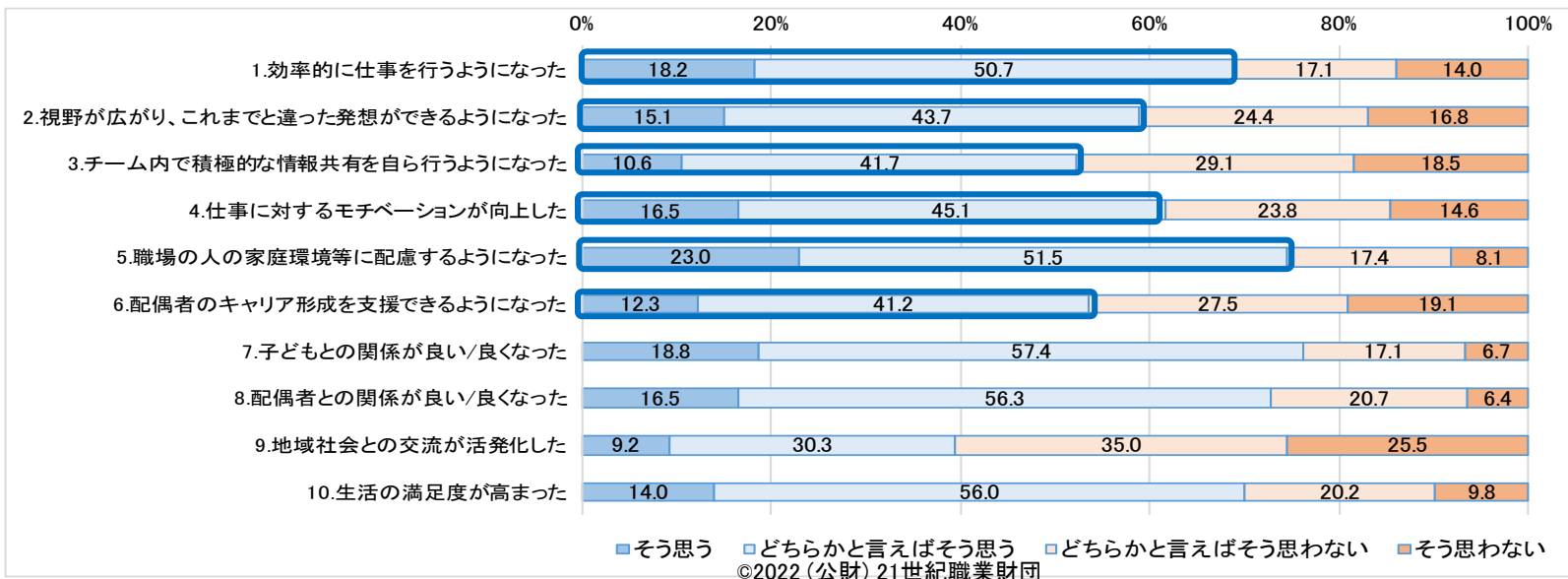
男性が育児のために休暇・休業を取得することは、 職場にもよい影響がある



- 休暇・休業を取得したことでの良い影響について、職場への影響として、「職場の人の家庭環境等に配慮するようになった」「効率的に仕事を行うようになった」「仕事に対するモチベーションが向上した」について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の割合が6割を超え、「視野が広がり、これまでと違った発想ができるようになった」58.8%、「チーム内で積極的な情報共有を自ら行うようになった」52.3%である。
- 「配偶者のキャリア形成を支援できるようになった」も、53.5%の人が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答している。

【子どもの出生や育児のための休暇・休業を取得した男性(n=357)】

Q25_1.あなたが子どもの出生や育児のために休暇・休業を取得したことでの良い影響について、以下のそれぞれの項目で、当てはまるものを選んでください。

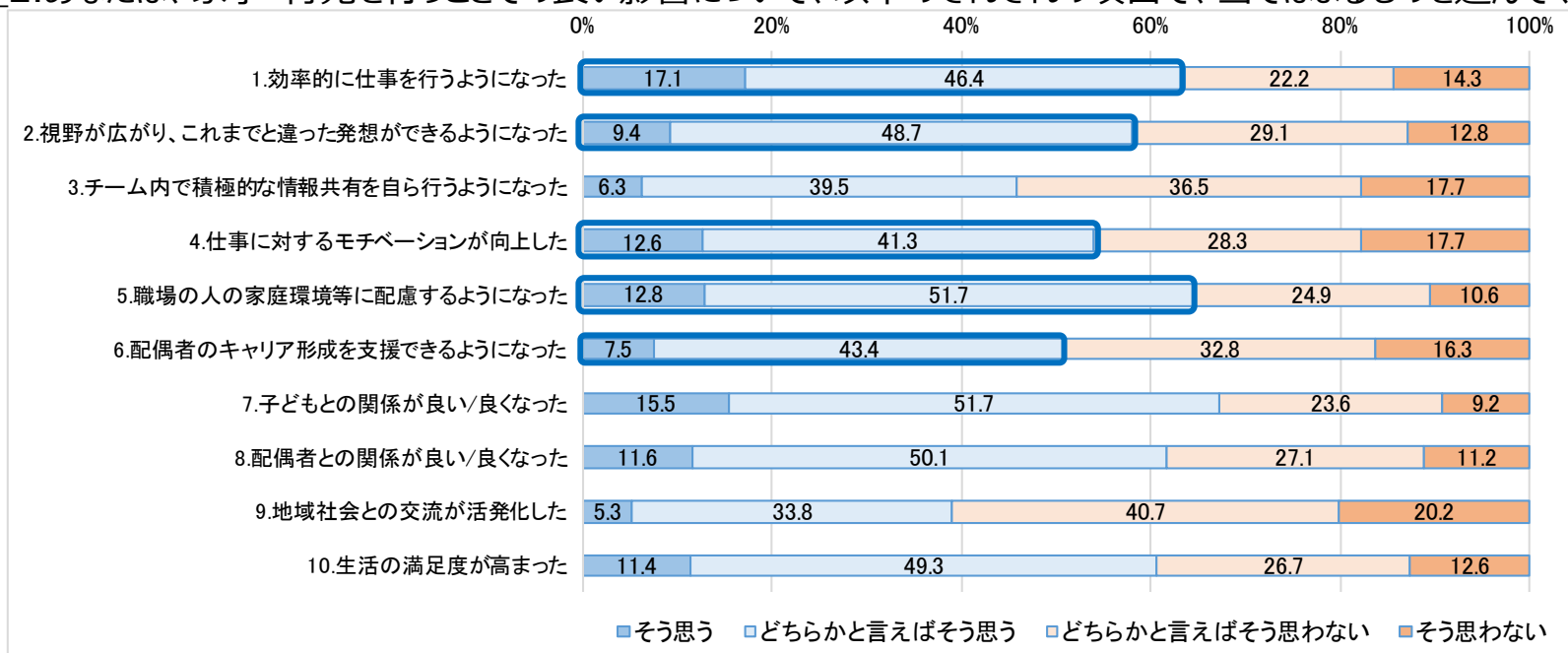


男性が家事・育児を行うことは、職場にもよい影響がある



- 子どもの出生や育児のために休暇・休業を取得していない男性について、家事・育児を行うことでの良い影響を見ると、職場への影響としては、「職場の人の家庭環境等に配慮するようになった」(64.5%)「効率的に仕事を行うようになった」(63.5%)と高い割合である。さらに、「視野が広がり、これまでと違った発想ができるようになった」(58.1%)、「仕事に対するモチベーションが向上した」(53.9%)も、半数を超えている。
- 「配偶者のキャリア形成を支援できるようになった」も、約半数の人が「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答している。

【子どもの出生や育児のための休暇・休業は取得していない、家事をしている男性(n=491)】
Q25_2.あなたは、家事・育児を行うことでの良い影響について、以下のそれぞれの項目で、当てはまるものを選んでください。



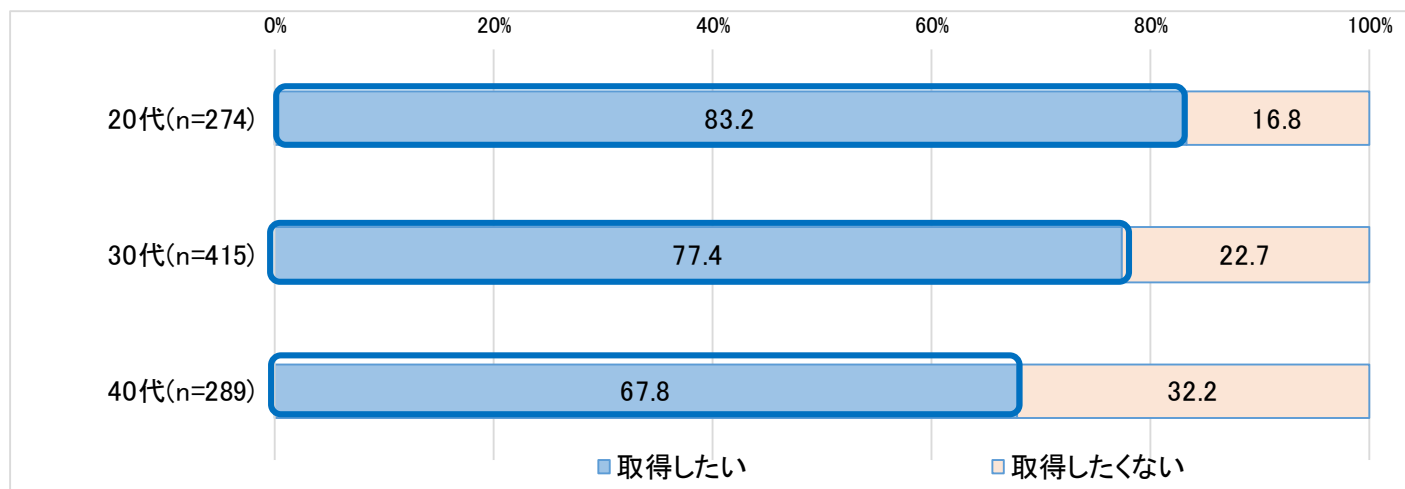
20代では8割以上の男性が、育児休業取得を希望



- 年代別に育児休業取得希望の有無を見ると、20代では、育児休業を取得したいと思っている人が子どもを持つ予定がある男性の8割を超えている。30代でも77.4%、40代でも67.8%と高い。

【子どもを持つ予定がある男性：年代別】育児休業取得希望の有無

Q26.あなたは、今後、育児休業を取得したいと思いますか。



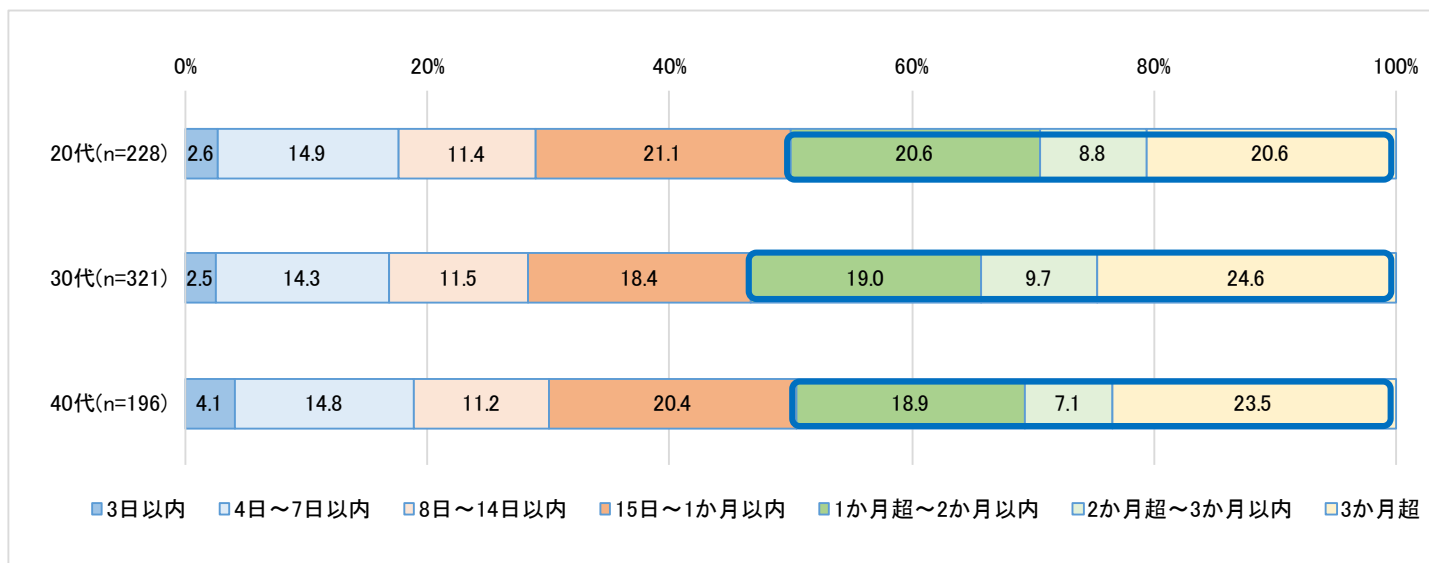
育児休業取得を希望する男性の約半数が 1か月超の休業を希望している



- 子どもを持つ予定があり、育児休業取得を希望している男性について、年代別に希望の取得期間を見ると、どの年代でも、3か月超が約2割である。
- 1か月超が20代で50.0%、30代で53.3%、40代で49.5%である。
- 現状（Q24：1か月超えの人は約2割）と比べると希望の取得期間は長くなっている。

【子どもを持つ予定があり、育児休業取得を希望している男性：年代別】 希望の育児休業取得期間

Q27.あなたは育児休業を取得したいとのことですが、どのくらいの期間、取得したいですか。



大企業でも、男性の長期の育児休業が 取得しやすいとの回答は3割に満たない



- 男性の育児休業の取得のしやすさを企業規模別に見ると、「短期間でも取得しにくい」と回答した男性の割合は10,001人以上企業で26.2%、301～500人企業では46.5%。
- 「短期間でも、長期間でも取得しやすい」と回答した男性の割合は、10,001人以上企業でも27.8%と3割に達していない。

【男性：企業規模別】育児休業の取得しやすさ

Q28.あなたの職場では男性が育児休業を取得しやすいですか。

凡例	(n)	短期間でも取得しにくい	短期間であればやや取得しやすい、長期間は取得できない	短期間であれば取得しやすいが、長期間は取得が難しい	短期間でも、長期間でも取得しやすい	(%)
101~300人	(750)	40.0	20.7	21.6	17.7	
301~500人	(213)	46.5	18.8	23.5	11.3	
501~1,000人	(252)	39.7	22.2	20.6	17.5	
1,001~3,000人	(332)	33.4	21.7	24.7	20.2	
3,001~5,000人	(162)	32.7	23.5	21.0	22.8	
5,001~10,000人	(178)	32.0	15.7	29.8	22.5	
10,001人以上	(363)	26.2	23.4	22.6	27.8	

長時間働くことが多い場合は育児休業も取得しにくいと認識している



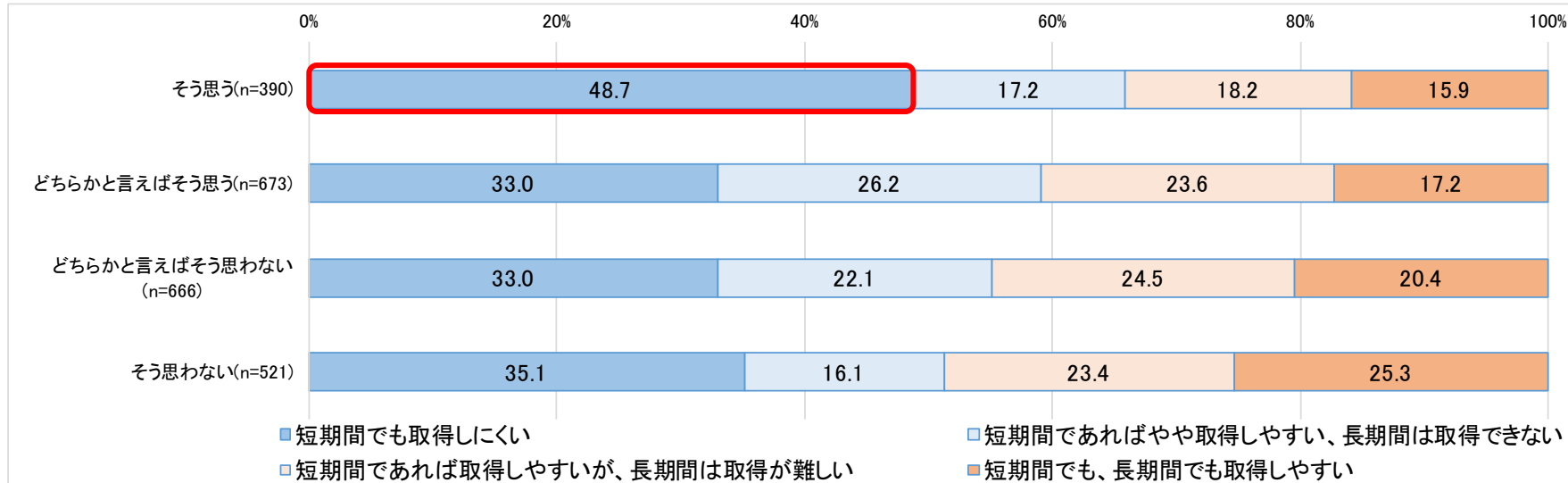
- 長時間働くことが多い男性では、職場において男性が育児休業を「短期間でも取得しにくい」と回答した人の割合が約5割である。

【男性：長時間労働別】育児休業の取得しやすさ

Q28.あなたの職場では男性が育児休業を取得しやすいですか。

Q19_3

あなたは残業や休日勤務など長時間働くことが多いですか



思ったことが自由に言える職場風土である場合、 男性が育児休業を取得しやすい



- 「思ったことが自由に言える職場風土である」場合、育児休業が「短期間でも長期間でも取得しやすい」と回答した人の割合が29.5%とそうでない場合に比べ高い。
- 「まったくあてはまらない」場合、「短期間でも取得しにくい」と回答した人の割合が62.6%と高い。

【男性：心理的安全性 別】育児休業の取得しやすさ

Q28.あなたの職場では男性が育児休業を取得しやすいですか。

Q32_4
思ったことが自由に言える職場風土である

